

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		OZデイわかやま		公表日		2026年2月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	10	・スペースは狭いが工夫できている ・利用人数により狭いと感じることがある。長時間利用となった際は食事スペースを確保したり床にあるスペース等その都度工夫が必要だと感じる。	・利用者複数の場合はできていない。 ・バギー車椅子等を利用する利用者様が多く、狭さを感じる。物の配置を再考しては…と思う。 ・定員がマックスになった場合、リスクがあると思う。 ・現在移転を考えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	・ほぼマンツーマンもしくはそれ以上の人数のスタッフを配置している ・声のかけ合いが良い		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	3	・支援スペースはジョイントマットで見分けやすくしている	・一般世帯向けの住宅なので出入り口が狭いのが難。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	・毎日そうじを行い支援内容に合わせ配置を考えている ・毎日掃除をしている。ジョイントマットを設置しており床の際での活動もしやすい。コーナーガードをふやしたい。	・利用者が複数の場合は狭い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3	・カーテンで仕切ることにより個別の場所を確保している ・狭いスペースながらもカーテンで仕切りプライベート空間を確保して工夫されていると感じる	・建物の構造上、個別の部屋を用意できない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1		・毎月のミーティングで振り返りを行っているが、目標設定を職員全員で行うことまでできていない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2		職員の意見を把握する機会を設けていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	6		・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	4	事業所に送られてきた研修案内を事務室のわかりやすい場所に掲示している。 YouTube等での研修を行っている。	・研修計画を立てたが、旨が集まる日がなかなか取れなく計画通りにいかなかった。 基本的な研修にとどまらず、もっと資質向上できるような研修の機会をもうける。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・支援者会議が定期的で開催され、できるだけ多くのスタッフが参加できるようZoom等も利用して工夫されている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	アセスメントをとり、日々の行動観察の記録は取れている。	・記録を確認できていないスタッフもいるため、周知していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		・ガイドラインを見て設定しているが、重度心身障がい児のためなかなか難しい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	いろんなスタッフに意見を聞くようにしている。Line等を使い、みんなからいろんな案を集めている。	一緒になるときが少ないため、決まったスタッフで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0			

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	・集団活動の時間で確保するのが困難だが、始まりの会での遊びは全員でしている。	集団活動が同じメンバーになりやすい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	2	・日によりメンバーが変わるので報連相ができていないかわからないが連携はできていると感じる	日によりメンバーが変わるので報連相が難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	4	・自省を共有出来ている	・できていないときもある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		支援の検証、改善にまではつなげていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	・選択できる利用者には二択での間で自己決定してもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	3	できる限り会議に出席している。	ホワイトボードの日程欄に乗せているが全体に周知していない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	・毎月囁託医に来てもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2		・就学前の子供が利用者に来た時今後行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		・今後行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	3		・今後考えていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	1	・イベントにて地域の中学や職員のお子さんといった方々と交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3	・できる限り会議に出席している。	ホワイトボードの日程欄に乗せているが全体に周知していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	・2月に保護者交流イベントとしてお弁当試食会とファイナンシャルプランナーによる講演を行った。	
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	1		・今のところ面談や必要な助言を行うには至っていないが、定期的に面談のお誘いをして良かったかもしれない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	1	・2月に保護者交流イベントとしてお弁当試食会とファイナンシャルプランナーによる講演を行った。 クリスマス会に兄弟の参加を呼びかけた。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0			

寺	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0	・地域の方とのつながりをうかがい、根ざしていると感じる ・イベントにて地域の方も遊びに来てくださっていた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1	・津波警報時に訓練を踏まえ素早く動くことができた。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	・確認しファイルに詳細を記載している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	3	・食物アレルギーのある子どもは現在いない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	・声をかけ合っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	契約時に保護者に説明を行い、了解を得ている。		